平成24年度「まち“夢”工事部門」選考会の様子

まち“夢”工事
部門

準備助成金(20万円以内)
工事費（500万円以内）

■日　時　　平成24年7月8日(日)10時～14時15分
■会　場　　名古屋都市センター・ホール(金山南ビル11階)

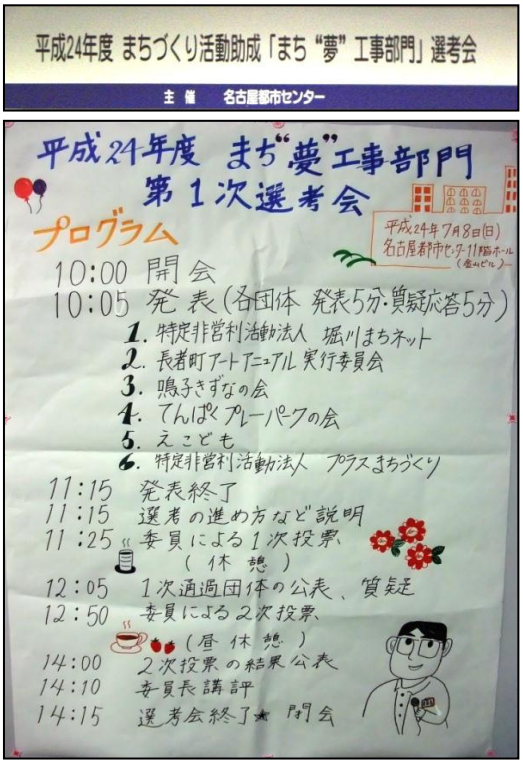
9:30　受付開始

今年度は、申請団体が6団体ありました。応募団体の皆さんには9時40分に集合していただきました。事務局からプレゼンテーションの進め方と機器操作の説明があり、今回が初めてのプレゼンという団体の方は少し緊張気味でした。

発表団体関係者18名、一般参加者1名の参加がありました

受付の様子

プレゼンテーションの説明



10:00　開　会

名古屋都市センター主幹の司会で、選考会が開会しました。

始めに、名古屋都市センター事業部長からあいさつがありました。

あいさつする事業部長

初めて参加される方も再度挑戦される方も、皆さん緊張されているとは思いますが、他の団体の活動の様子を参考にしていただきながら、リラックスして発表していただければと思います。

まちづくり主幹

まちづくり基金運用委員会の委員(7名)を紹介

選考会に当たっては、事前に申請書を熟読のうえ、臨みました。

10:05 応募団体による発表・質疑応答

各団体５分の持ち時間で、申請書の提案内容について、発表していただいた後、まちづくり基金運用委員との質疑応答を行いました。

タイムキーパーは、発表に際しては時間表示をして、公平な発表を心がけました。

時間表示をするタイムキーパー

プレゼンテーションする団体の皆さん

来場者にも提案内容をできるかぎり公表し、会場で資料を配布しました。

【会場で配布した資料】

●当日のプログラム、選考方法説明資料、各団体からの提案内容

※会場では、チラシ等の配布は禁止です。

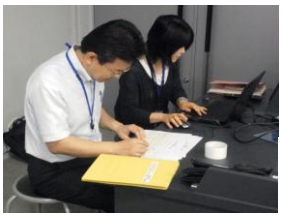
11:15 選考の進め方の説明

選考の進め方について事務局より説明がありました。

選考方法を説明する事務局

11:25 休憩、委員による１次投票

１次投票は、第１次通過団体を選考するために行いました。



投票結果を集計する事務局

平成24年度 まちづくり活動助成「まち“夢”工事部門」 1次通過団体

No.	団体名称	1次通過団体
1	特定非営利活動法人堀川まちネット	
2	長者町アートアニュアル実行委員会	○
3	鳴子きずなの会	○
4	てんぱくプレーパークの会	○
5	えこども	○
6	特定非営利活動法人プラスまちづくり	

12:05 １次投票の結果公表、質疑

休憩終了後、１次通過団体を発表！

６団体のうち４団体が１次通過となりました。

１次通過の４団体に、２次投票に向けて、基金運用委員から質問が出されます。
団体の皆さんもここが正念場と熱い思いを語ります。

委員の質問に答える団体の皆さん

質問する基金運用委員

最後に委員長より、予算の制限があるため、助成額がカットされた場合、工事費コストを下げても、提案の実現が可能かどうかの質問が出され、４団体とも調整は可能との回答がありました。

12:50 休憩、各委員による投票

再質疑を終えると、いよいよ皆さんの前で投票です。
各委員には、各団体の提案を、**「選考にあたって重視する点」①～④の 4 項目**すべてについて**「3 点」「2 点」「1 点」「0 点」**の 4 段階で評価をしていただきました。

＜選考にあたって重視する点は以下のとおり＞

・・・・・・・・・・・・・提案内容の妥当性・・・・・・・・・・・・・

①必要性

・公益性・公共性のある提案か
・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする提案か
・地域の身近な課題やニーズを的確に把握しているか
・地域に貢献する施設か

②独創性

・地域の特性や資源などを活かした個性豊かな提案か
・創意工夫を凝らした提案か

③実現性

・活動計画が具体的になっているか
・スケジュールは妥当か
・地域住民が参画して取り組んでいく予定はあるか
・自己資金（工事費の5分の1）を用意できる見通しはあるか

・・・・・・・・・・・・提案団体の能力・・・・・・・・・・・・

④活動実績と主体性

・提案内容につながる地域での活動実績を有しているか

・自ら主体となって工事を行い、施設の継続的な維持管理をする意欲と見通しがあるか

集計は、「選考にあたって重視する点」**4 項目の評価を点数化（3 点、2 点、1 点、0 点）**して**委員の平均点**を算出しました。

例えば、以下の〇〇〇団体の例では、委員 7 人の平均点は、9.0 点となります。

＜〇〇〇団体の計算例＞

① 必要性　「3 点」4 票　「2 点」2 票　「1 点」1 票　「0 点」0 票

② 創性　「3 点」3 票　「2 点」2 票　「1 点」1 票　「0 点」1 票

③ 実現性　「3 点」4 票　「2 点」2 票　「1 点」1 票　「0 点」0 票

④ 動実績と主体性　「3 点」4 票　「2 点」1 票　「1 点」1 票　「0 点」1 票

（「3 点」×15 票　＋「2 点」×7 票　＋「1 点」×4 票　＋「0 点」×2 票）÷7 人＝9.0 点

集計した委員の平均点を参考に、総合的に判断し、上位から採用を決定しました。

14:00　投票の結果公表

副委員長が投票の結果を発表！採択団体に花がつけられました。

結果を発表する西澤副委員長と花を付ける鈴木委員

評価の結果など、総合的に判断し、採用を決定する選考方法でしたが、委員会で慎重に議論を重ねた結果、今年は４団体とも採択され、委員長から講評がありました。

講評する福島委員長

平成24年度 まちづくり活動助成「まち"夢"工事部門」 2次投票結果

No.	団体名称	委員の平均点（12点満点）	選考にあたって重視する点を評価 計	必要性	独創性	実現性	活動実績と主体性
			3点 2点 1点 0点	3 2 1 0	3 2 1 0	3 2 1 0	3 2 1 0
		点	件 件 件 件	件 件 件 件	件 件 件 件	件 件 件 件	件 件 件 件
1	特定非営利活動法人堀川まちネット	6.43	2 1 4 1 1 1	0 5 2 0	0 2 5 0	0 3 3 1	2 4 1 0
2	長者町アートアニュアル実行委員会	8.57	7 1 8 3 0	0 5 2 0	1 6 0 0	1 5 1 0	5 2 0 0
3	鳴子きずなの会	9.86	1 6 9 3 0	2 4 1 0	1 4 2 0	6 1 0 0	7 0 0 0
4	てんぱくプレーパークの会	10.57	1 9 8 1 0	6 1 0 0	0 6 1 0	6 1 0 0	7 0 0 0
5	えこども	9.14	1 1 1 4 3 0	3 4 0 0	0 5 2 0	5 2 0 0	3 3 1 0
6	特定非営利活動法人プラスまちづくり	6.57	3 1 3 1 1 1	0 4 3 0	0 1 5 1	1 3 3 0	2 5 0 0

【委員長講評】

先ほど西澤副委員長から発表がありましたように、2次投票に進まれた団体、4団体全て採択ということになりました。評価の得点をご覧いただきますと、4 団体とも、必要性とこれまでの活動実績、主体性、現実性においてもきちんと見通しが立っている点が高く評価され、それぞれ高得点をあげられたということです。

特に「てんぱくプレーパーク」につきましては、これまでの実績があり、また地域の方々から非常に必要とされているという点について、私たちもサポートしていきたいと思いました。また第2次選考会に向けて、新しいプレーパークのあり方も考えていただけるとの期待も込めて高い評価があったと考えております。

「鳴子きずなの会」につきましては、これまで地域や人々をまちづくりに巻き込んで、人づくり、あるいは絆づくりをしてきた実績というものがあります。また、自分たちでできることは、自分たちでやっていくという主体的な取り組みについても高く評価されたと思います。

「えこども」につきましては、提案内容そのものは、エコトイレの設置ということですが、環境学習、あるいは環境の保全、子育てなど、関連するいろいろな団体をネットワークすることによって活動に幅を持たせるという点を高く評価しました。特に、提案内容が山にトイレを設置するということで維持管理が大きな課題となりますが、尾張戸神社とともに管理していただけるということであり、実現性という点でも評価が上がりました。

「長者町アートアニュアル実行委員会」につきましては、看板の設置がどうまちづくりに結びつくのか、十分に伝わらないところがありましたが、2回目の質疑の中で、その必要性について理解が進み、こういったアプローチもあるのではないかと考えました。また、アートアニュアルは、トリエンナーレを繋ぐ非常に大切な役割を持つということも評価して採択させていただきました。

4 団体を採択することになりましたが、その要望助成額の総額は、この事業の予算額を超過しています。これは、質疑において「助成額がある程度減額されても柔軟に対応できる」とのことでしたので、こうした審査判断が可能になりました。事業予算の関係からハード助成は今年度で多分終了するであろうと思われます。最後の機会ということで、できるだけ応援したいという思いがあったということと、やはりそれぞれに意義のあるご提案をしていただいたということで、4団体を採択させていただきました。

ただし、今回はあくまでも第1次選考での採択ということで、第2次選考においての採択が保証されている訳ではありません。第 2 次選考までに、提案をより具体的かつ適切なものにしていただくこと、また、この活動助成のタイトルが「まち“夢”工事部門」ですので、本当に夢のあるものに発展させていただき、是非、第2次選考も通るようにご努力いただければ、審査委員会としても大変うれしく思います。

本日は最後まで残っていただき、ありがとうございました。

14:15 閉会

緊張が途切れ安堵からか、採択された団体の中には、涙をこぼしている方もみえました。
今後、準備助成金を活用して地元調整などを行い、２次選考会への準備を進めていただきます。

会場でのアンケートからの意見・感想では、

- 他団体のプレゼン参考になりました。
- どういう点が指摘されるのか、鋭いつっこみに感心した。
- 市内各所でさまざまな団体が積極的に活動していることがよく分かった。
- 公開審査は他団体の活動状況が自身の団体の日頃の活動を再確認できる、とてもよい機会だと思う。
- 審査員の方々のあたたかいご助言に大変感謝しております。いただいた助成金を実のあるものにしていくよう、みんなでがんばります。

などの意見・感想が出されました。